

## 感染症対応実践学寄附講座

### 1. スタッフ

特任講師 いわなが えいさく 岩永 栄作  
特任助教 ふるた りえ 古田 梨愛  
特任助教 おかばやし ひろこ 岡林 比呂子

### 2. 寄附講座の特徴

本講座は、熊本県内の感染症専門医（熊本市を除く）を育成するとともに、熊本県感染管理ネットワークを通して情報を共有し、感染症診療の均てん化を進めることで、県内における医療体制の更なる連携及び機能強化に寄与する。

医療の発達に伴い感染症は克服されたように考えられてきた時期もあったが、2003年のSARS-CoV感染症の流行以降、新型鳥インフルエンザウイルス、MERS、ジカウイルス、エボラウイルス、SARS-CoV-2など多くの新興ウイルス感染症が出現し、感染症は人類にとって依然として大きな脅威であることが浮き彫りとなった。また、このような感染症拡大の契機となりやすい人獣共通感染症も継続的な課題である。併せて、広範囲な抗生物質に耐性を示す多剤耐性細菌も大きな問題となっている。さらに現代は、人々の移動の高速化により、これらの感染症が瞬く間に全世界に広がる時代となっている。このような時代・情勢に伴って激しく変化する感染症に対応可能な医療人材の育成は急務であるが、新興感染症、多剤耐性細菌感染症、災害時の感染症に対応する幅広い知識、経験を有する医師・メディカルスタッフは、現時点では極めて少ない。

一方で、熊本県の「熊本県地域医療構想」において、国立社会保障・人口問題研究所推計に基づく本県の高齢者人口割合で65歳以上の割合及び75歳以上の割合は、何れも2040年まで上昇する見込みであり、今後も感染症対策なども含めた質の高い医療サービスの提供は必須である。

また、厚生労働省策定の「感染症の予防の総合的な推進を図るための基本的な指針」第八の一において、「国及び都道府県等は、これら必要とされる感染症に関する人材の確保のため、感染症に関する幅広い知識や研究成果の医療現場への普及等の役割を担うことができる人材の養成を行う必要がある」とされており、医療法の改正（令和6年4月1日施行）により、都道府県が作成する医療計画に関して、新興感染症等への対応に関する事項を追加することが決定されている。本講座はこのような状況に対応可能な人材の育成と地域医療への貢献が期待されている。

### 3. 診療内容、診療体制

①リカレント教育の一環として以下の講演会およびカンファレンスを行った。

#### 【感染症対策講演会】

開催日時：2023年12月1日

開催場所：球磨郡医師会館

対象者：医師、看護師・技師等の医療従事者

テーマ：感染症への理解と感染対策（新型コロナウイルスとインフルエンザの最新の知見）

#### 【感染症対策講演会】

開催日時：2023年12月15日

開催場所：くまもと県北病院

対象者：医師、看護師・技師等の医療従事者

テーマ：感染症への理解と感染対策（①熊本のHIV感染の状況、②冬場の感染症と感染対策）

#### 【熊本大学病院群 生涯教育・研修医セミナー】

開催日時：2024年3月18日

開催場所：熊本大学病院（ハイブリッド）

対象者：医師、看護師などの医療従事者、医学生

テーマ：感染症への理解と感染対策（①新興・再興感染症overview、②SARS-CoV-2流行の状況と課題、③エイズと再興感染症（梅毒、結核等）の現状）

【感染症に関する新興感染症対策寄附講座（熊本市）との合同講演会（前期）】

開催日時：2023年10月29日

開催場所：熊本城ホール 会議室

対象者：一般市民の方、医師、看護師、社会福祉士、介護福祉士、事務職員等

テーマ：新型コロナウイルス感染症～これまでの総括と今後の課題～

演者：岩越一（熊本県）：熊本市市民病院におけるこれまでの対応と今後の課題、岡本真一郎（熊本市）：パンデミックからわかったこと

【感染症に関する新興感染症対策寄附講座（熊本市）との合同講演会（後期）】

開催日時：2024年2月4日

開催場所：熊本市医師会館 会議室

対象者：医師、歯科医師、看護師、薬剤師、事務職員、学生等

テーマ：ポストコロナのAMR対策～熊本のAMR対策を考える～

演者：大曲貴夫（熊本県）：日本の新しい薬剤耐性（AMR）対策～アクションプランのめざすところ～、尾田一貴（熊本市）：抗菌薬適正使用に関わる多面的取り組み～サーベイランスから個別化投与まで～

#### 【カンファレンス】

開催日時：2023年11月16日

開催場所：熊本大学病院

対象者：医師、看護師・技師等の医療従事者

テーマ：新興感染症に対する講習及びPPE着脱訓練に係る感染対策指導

②熊本大学病院感染制御部、新興感染症対策寄附講座（熊本市）などと連携し、新型コロナウイルス感染症重症症例を中心に診療に従事した。

### 4. 高度先進的な医療の取組

感染症指定医療機関の現職医療従事者に対して最新の国際的かつ実践的ナリカレント教育を行うことで、県全域で感染症に対応できる高度医療人を育成することに取り組んでいる。COVID-19の診療については、人工呼吸管理やECMOの適応となる重症患者の受け入れを行っている。

### 5. 地域医療への貢献

一般医療従事者および地域住民向けの新興感染症診療・感染対策についてのセミナー開催を通じて地域での医療・保健水準の向上に取り組んでいる。

また、地域でのCOVID-19重症例対応可能施設のひとつとして患者受け入れを行っている。

### 6. 医療人教育の取組

感染症専門医の育成について、感染症専門医新規取得を目指し、日本感染症学会の研修カリキュラムに基づいた研修指導を行っている。また、卒前医学教育として医学部学生の臨床実習、講義を担当し感染症に関する教育に取り組んでいる。

### 7. 研究活動

COVID-19患者の重症化予測因子のバイオマーカーについての疫学的検討を進めている。COVID-19の最新知見に基づいた重症例に対する診療体制の整備、COVID-19の診療対応に関するマニュアルの整備、セミナー開催等による院内および地域での情報提供を行っている。